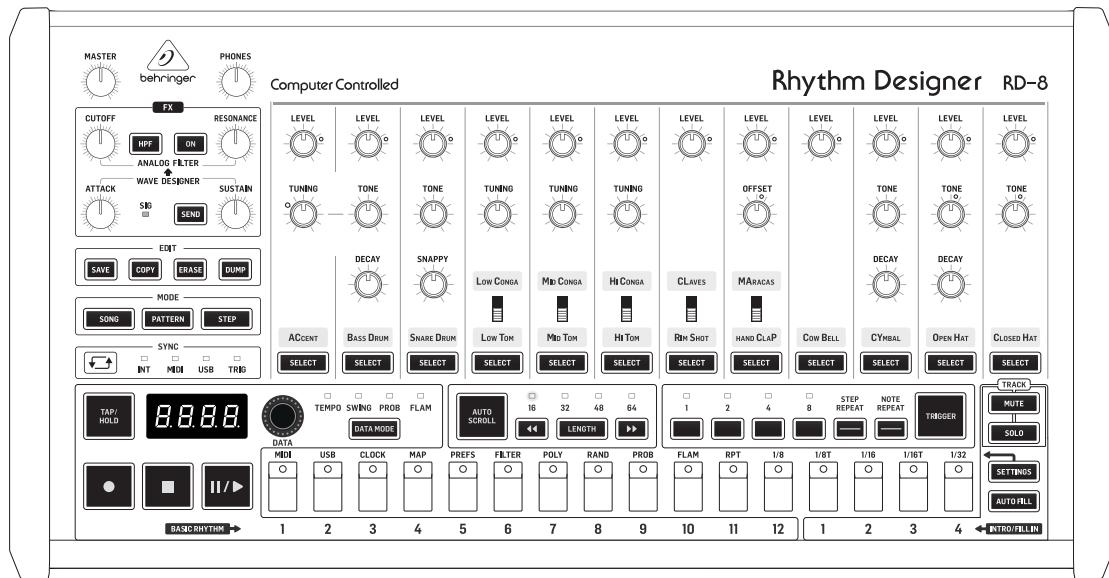


クイックスタートガイド

JP



RD-8 MKII

Classic Analogue Drum Machine with 16 Drum Sounds, 64 Step Sequencer, Wave Designer and Dual-Mode Filter

JP

JP 安全にお使いいただくために



注意

 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意

 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかかるないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

 このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触ると感電の恐れがあります。

注意

 取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

 1. 取扱説明書を通してご覧ください。
 2. 取扱説明書を大切に保管してください。
 3. 警告に従ってください。
 4. 指示に従ってください。
 5. 本機を水の近くで使用しないでください。
 6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるものをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのよう、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

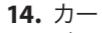
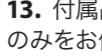
21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Oberheim, Auratone, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

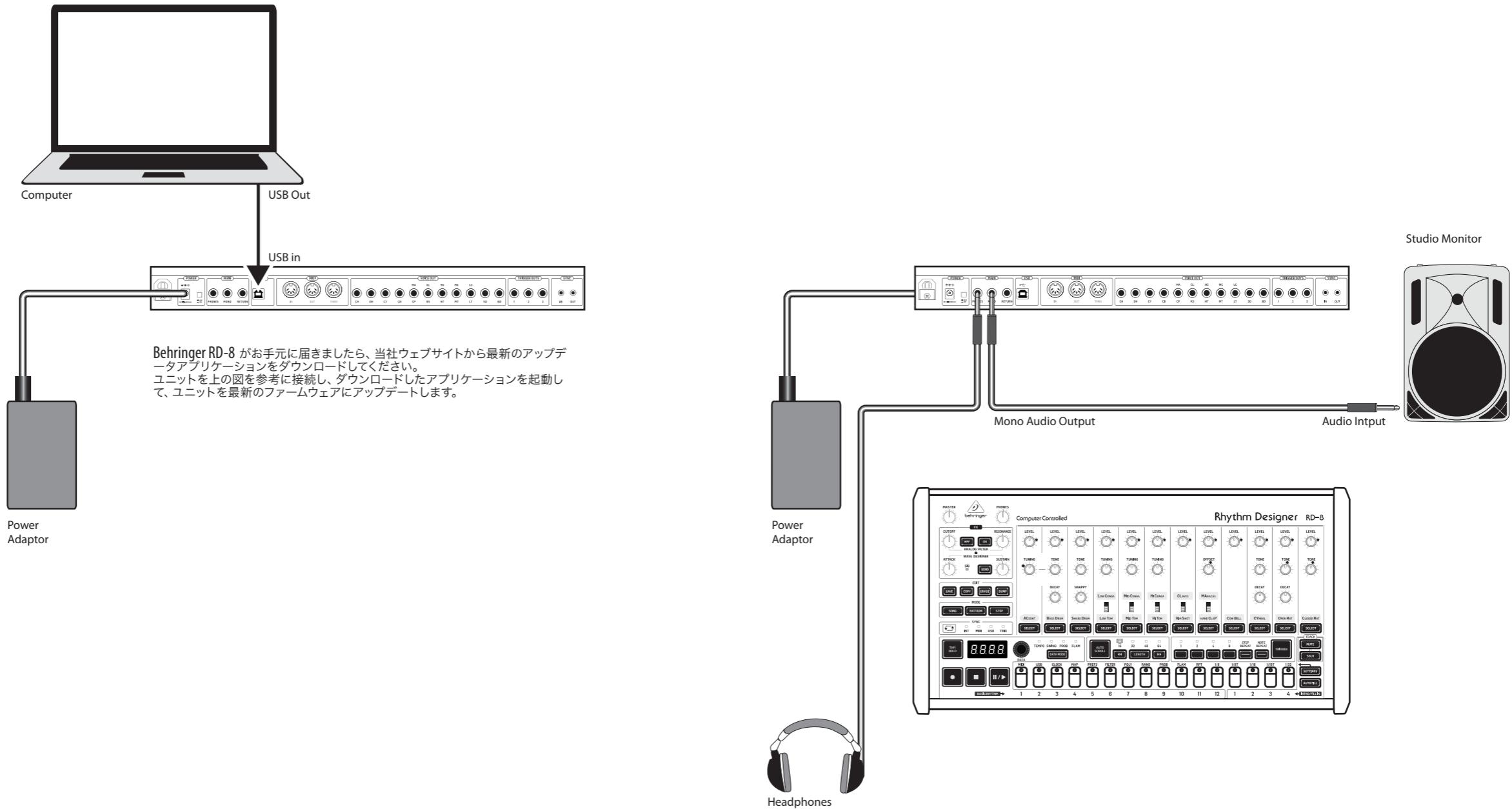
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。



RD-8 MKII フックアップ

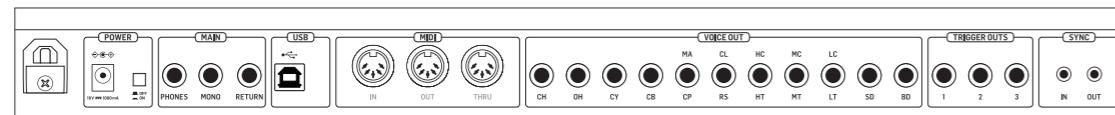
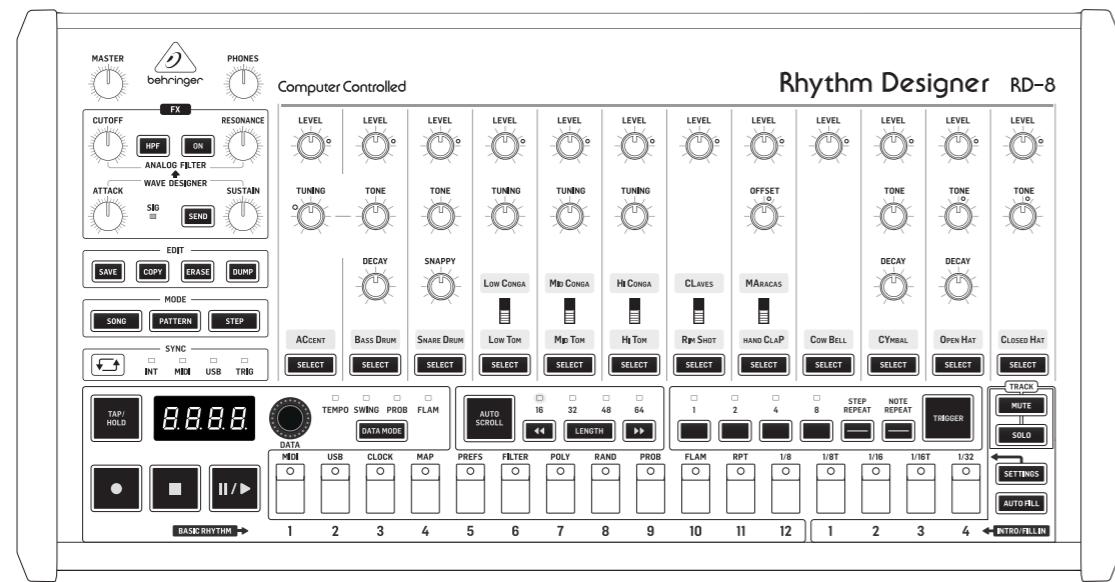
ステップ 1: フックアップ

接続例



RD-8 MKII コントロール

ステップ 2: コントロール



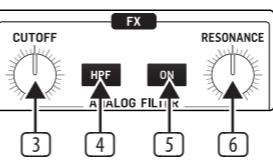
音量部



- ① **MASTER (マスター)** – メイン出力の音量を制御します。
 ② **PHONES (ヘッドフォン)** – ヘッドフォンの音量を調節します。ご注意ください。モニタリングを目的としているため、ヘッドフォン信号は、ウェーブデザイナーおよびフィルターバス以前の信号となります。

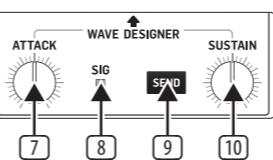
エフェクト部

Analog Filter (アナログフィルター)



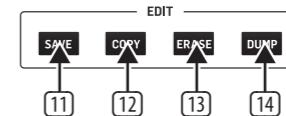
- ③ **CUTOFF (カットオフ)** – フィルターのカットオフ周波数を調節します。
 ④ **HPF** – フィルターを、ハイパスフィルター (HPF) とローパスフィルター (LPF) の間で切り替えます。
 ⑤ **ON (オン)** – 点灯時、回路に対しフィルターが有効になります。
 ⑥ **RESONANCE (レゾナンス)** – フィルターのレゾナンスを調節します。カットオフポイント周辺の周波数を強調します。

WAVE DESIGNER (ウェーブデザイナー)



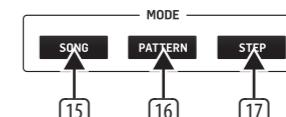
- ⑦ **ATTACK (アタック)** – ウェーブデザイナー回路のアタックの量を調節します。反時計回りに動かすと信号に対するアタックの割合を下げ、時計回りに動かすと、選択した信号におけるアタックの割合を上げます。
 ⑧ **SIG (信号)** – ウェーブデザイナー回路に信号が存在すると点灯します。
 ⑨ **SEND (センド)** – ウェーブデザイナーの割り当てメニューを有効にします。このバスに 1 つ以上の信号が割り当てられているとボタンが点灯します。
 ⑩ **SUSTAIN (サステイン)** – ウェーブデザイナー回路のサステインの量を調節します。反時計回りに動かすと信号に対するサステインの比率を下げ、時計回りに動かすとサステインを伸ばします。

EDIT (エディット) 部



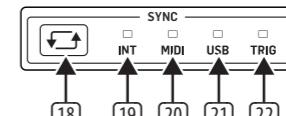
- ⑪ **SAVE (保存)** – メモリーコーションにソングまたはパターンを保存します。
 ⑫ **COPY (コピー)** – もう1つのメモリーコーションにソングまたはパターンをコピーします。
 ⑬ **ERASE (消去)** – 選択したソングまたはパターンを消去します。
 ⑭ **DUMP (ダンプ)** – パターン / ソングの MIDI SysEx (システムエクスクリージブ) ダンプをおこないます。

MODE (モード) 部



- ⑮ **SONG (ソング)** – ソングモードに入ります。16 のソングのうち 1 つをキュします。
 ⑯ **PATTERN (パターン)** – パターンモードに入ります。16 種類のパターンからソングを構築します。
 ⑰ **STEP (ステップ)** – 選択したボイスで利用可能な各ステップを表示します (パターンごとに最大 64 ステップ)。

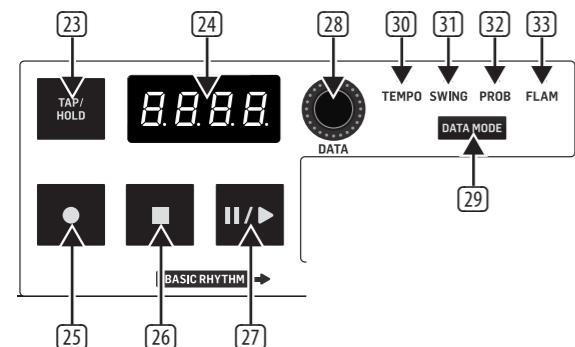
SYNC (シンク) 部



- ⑱ **サイクル** – シンクに関するさまざまなオプションを循環します。内部、MIDI、USB または外部クロック。
 ⑲ **INT (内部)** – ユニットがシンクマスターとなります。
 ⑳ **MIDI** – MIDI 入力ポートよりシンク信号を受信します。
 ㉑ **USB** – USB ポートよりシンク信号を受信します。
 ㉒ **CLK (クロック)** – 外部クロック入力よりシンク信号を受信します。

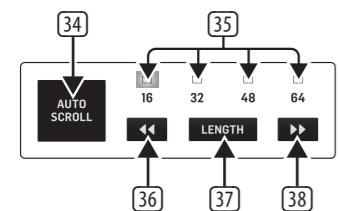
RD-8 MKII コントロール

プレイバック コントロール



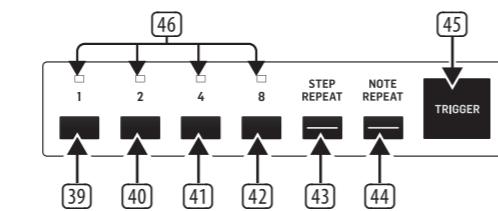
- ㉓ **TAP/HOLD (タップ / ホールド)** – タップしてパターンのテンポを設定します。クイックマクロコントロールをおこなうにはホールドします。
- ㉔ **ディスプレイ** – マルチ機能の 4 文字ディスプレイです。
- ㉕ **レコード** – レコードモードを有効にします。
- ㉖ **ストップ** – プレイ中のソングまたはパターンを停止します。
- ㉗ **プレイ / ポーズ** – 現在のソングまたはパターンを、再生もしくは一旦停止します。
- ㉘ **DATA (データ)** – データ編集のためのエンコーダーです。
- ㉙ **DATA MODE (データモード)** – 各種データモードを循環します。モードは Tempo (テンポ)、Swing (スwing)、Probability (プロバビリティ) および Flam (フラム) です。
- ㉚ **TEMPO (テンポ)** – データエンコーダーでテンポを選択し、調節します。
- ㉛ **SWING (スwing)** – データエンコーダーでスwingを選択すると、シャッフルのフィーリングを調節します。
- ㉜ **PROB (プロバビリティ)** – ステップのプロバビリティを調節します。
- ㉝ **FLAM (フラム)** – フラム幅を調節します。

AUTO SCROLL (オートスクロール) 部



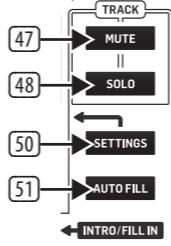
- ㉞ **AUTO SCROLL (オートスクロール)** – ステップモード: プレイヘッドを可視化します。パターンモード: ループが終了すると、ソングを先へ進めます。
- ㉟ **バンク 16/32/48/64** – 白色は、現在のパターンのプレイヘッドのバンク位置を表示します。青色は現在表示されているバンク位置を表示します。
- ㉟ **左側へ** - ステップモード = 表示したバンク位置を選択します。パターンモード = 選択したソングのプレイヘッド位置を選択します。
- ㉟ **LENGTH (長さ)** – ステップモード: 選択したパターンの長さを設定します。パターンモード = ソング内の選択したパートのリピート回数を設定します。
- ㉟ **右側へ** - ステップモード: 表示したバンク位置を選択します。パターンモード = 選択したソングのプレイヘッド位置を選択します。
- ㉟ **1 – バリュー 1** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **2 – バリュー 2** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **4 – バリュー 4** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **8 – バリュー 8** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **STEP REPEAT (ステップリピート)** – 選択した値でステップをリピートします。
- ㉟ **NOTE REPEAT (ノートリピート)** – 選択した値でノートをリピートするか、ノートをシングルショットします。
- ㉟ **TRIGGER (トリガー)** – 有効にすると、リピートをトリガーリーします。
- ㉟ **1/2/4/8** – 選択したリピート回数を表示します。

ステップおよびノートリピート部



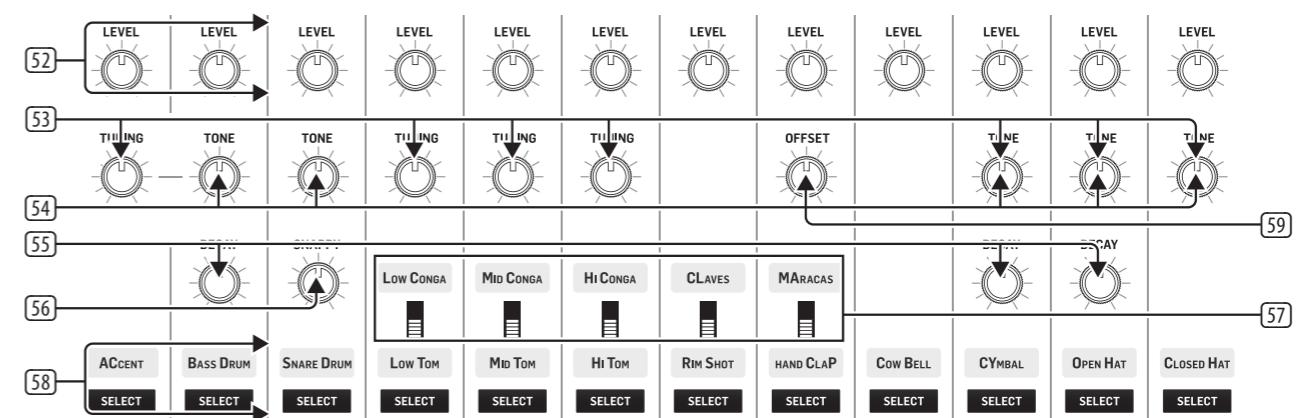
- ㉟ **1 – バリュー 1** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **2 – バリュー 2** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **4 – バリュー 4** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **8 – バリュー 8** でステップまたはノートリピートをおこないます。
- ㉟ **STEP REPEAT (ステップリピート)** – 選択した値でステップをリピートします。
- ㉟ **NOTE REPEAT (ノートリピート)** – 選択した値でノートをリピートするか、ノートをシングルショットします。
- ㉟ **TRIGGER (トリガー)** – 有効にすると、リピートをトリガーリーします。
- ㉟ **1/2/4/8** – 選択したリピート回数を表示します。

トラックコントロールおよびセッティング



- ㉟ **MUTE (ミュート)** – ミュートメニューを起動します。
- ㉟ **SOLO (ソロ)** – ソロメニューを起動します。
- ㉟ **ステップボタン** – パターンへのステップ情報の入力および、(50) "SETTINGS" ボタンと併用し、各種システムタスクで、より細かい編集をおこないます。
- ㉟ **SETTINGS (セッティング)** – (49) "STEP" ボタンと組み合わせて使用し、異なるオペレーションモードを選択します (詳しくはユーザーマニュアルをご覧ください)。
- ㉟ **AUTOFILL (オートフィル)** – フィルパターンを選択および追加します。

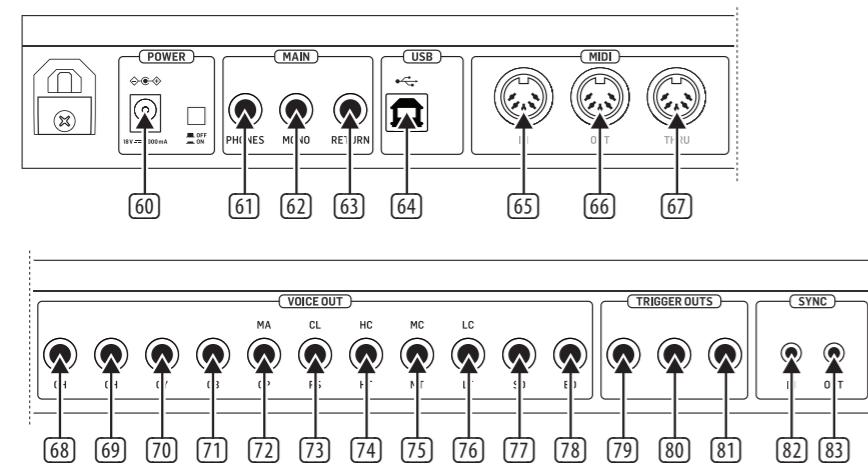
ボイスコントロール



- ㉟ **LEVEL (レベル)** – 11 種のボイスのレベルおよびアクセント。
- ㉟ **TUNING (チューニング)** – 対応するボイスをレラティブチューニングします。
- ㉟ **TONE (トーン)** – ボイスにフィルターを適用します。反時計回りに動かすと高域を低減します。
- ㉟ **DECAY (ディケイ)** – ボイスの減衰時間を変更します。反時計回りに動かすと短く、時計回りに動かすと長くなります。
- ㉟ **SNAPPY (スナッピー)** – スネアサウンドのスナッピー音の量を調節します。時計回りに動かすとスナッピー音が大きくなります。
- ㉟ **ボイススイッチ** – 使用できる2つのボイス間を切り替えます。
- ㉟ **ボイスセレクト** – パターン、ウェーブデザイナー/フィルターの編集、ソロまたはミュートをするボイスを選択します。
- ㉟ **OFFSET (オフセット)** – ハンドクラップ音の長さを変更します。

RD-8 MKII コントロール

背面パネル接続端子



- ⑥0 **POWER (電源)** – 付属の電源ユニットをここに接続し、電源スイッチを押して本機をオンにします。
- ⑥1 **PHONES (ヘッドフォン)** – ヘッドフォンを 6.35 mm (1/4") TRS コネクターで接続します。
- ⑥2 **MONO (モノラル)** – 6.35 mm (1/4") TRS コネクターのメイン出力端子です。
- ⑥3 **RETURN (リターン)** – オーディオポストフィルターバスを加算します。
- ⑥4 **USB** – コンピューターに接続し、アップデートおよび DAW コントロールをおこないます。
- ⑥5 **MIDI IN (MIDI 入力)** – シーケンサー や DAW など、外部 MIDI 機器より MIDI を入力します。
- ⑥6 **MIDI OUT (MIDI 出力)** – 外部 MIDI 機器へ MIDI データを出力します。
- ⑥7 **MIDI THRU (MIDI スルー)** – 入力された MIDI データを直接ほかの機器へ送出します。
- ⑥8 **CH 単独出力** – Closed Hat (クローズドハット) のアンバランス出力。
- ⑥9 **OH 単独出力** – Open Hat (オープンハット) のアンバランス出力。
- ⑦0 **CY 単独出力** – Cymbal (シンバル) のアンバランス出力。
- ⑦1 **CB 単独出力** – Cow Bell (カウベル) のアンバランス出力。
- ⑦2 **CP/MA 単独出力** – Hand Clap (ハンドクラップ) または Maracas (マラカス) のアンバランス出力。
- ⑦3 **RS/CL 単独出力** – Rim Shot (リムショット) または Claves (クラベ) のアンバランス出力。
- ⑦4 **HT/HC 単独出力** – High Tom (ハイタム) または High Conga (ハイコンガ) のアンバランス出力。
- ⑦5 **MT/MC 単独出力** – Mid Tom (ミッドタム) または Mid Conga (ミッドコンガ) のアンバランス出力。
- ⑦6 **LT/LC 単独出力** – Low Tom (ロータム) または Low Conga (ローコンガ) のアンバランス出力。
- ⑦7 **SD 単独出力** – Snare Drum (スネアドラム) のアンバランス出力。
- ⑦8 **BD 単独出力** – Bass Drum (バスドラム) のアンバランス出力。
- ⑦9 **TRIGGER OUT 1 (トリガー出力 1)** – 外部機器をトリガーする、+5V 1ms パルス
- ⑧0 **TRIGGER OUT 2 (トリガー出力 2)** – 外部機器をトリガーする、+5V 1ms パルス
- ⑧1 **TRIGGER OUT 3 (トリガー出力 3)** – 外部機器をトリガーする、+5V 1ms パルス
- ⑧2 **CLOCK IN (クロック入力)** – クロック情報を送信する外部機器にシンク (同期) します。
- ⑧3 **CLOCK OUT (クロック出力)** – 外部機器を Rhythm Designer にシンクさせます。

ソフトウェアアップデート

RD-8 アップデータは www.musictribe.com よりダウンロードいただけます。アップデータに付属のリリースノートに記載されている手順にしたがいアップデータをおこなってください。

技術仕様

声	
音の数	16
タイプ	アナログ
同時音数	11 (グローバルアクセントを含む 12)
サウンドコントロール	
アクセント	レベル
バスドラム	レベル、トーン、減衰、チューニング
スネアドラム	レベル、トーン、きびきび
ロー、ミッド、ハイコンガ/ロー、ミッド、ハイトム	レベル、チューニング、音声選択
クラベス/リムショット	レベル、音声選択
マラカス/手拍子	レベル、オフセット、音声選択
カウベル	レベル
シンバル	レベル、トーン、減衰
オープンハット	レベル、トーン、減衰
閉じた帽子	レベル、トーン
選択ボタン	16 音声選択ボタン

接続性	
出力	
電話	1x 1/4" TRS、ステレオ、8Ω インピーダンス
単核症	1x 1/4" TRS、サーボバランス
意見を言う	11x 1/4" TS、アンバランス
MIDI イン、アウト、スルー	3x 5 ピン DIN
トリガーアウト	3x +5V, 1ms パルス
出勤/退勤	2x 1/4" TS
USB	クラス準拠の USB2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 以降 Mac OS X 10.6.8 以降
ボリュームコントロール	マスター、電話
リターン (入力)	1x 1/4" TRS、バランス

ウェーブデザイナー	
バス	11 ボイス、個別に割り当て可能
コントロール	
攻撃	-15 ~ +15 dB、調整可能
サスティーン	-24 ~ +24 dB、調整可能
送信ボタン	オン / オフ、切り替え可能
Sig LED	赤

アナログフィルター	
タイプ	状態変数、12 dB スロープ
を中断する	10 Hz ~ 15 kHz、調整可能
共振	0 ~ 10、調整可能
HPF ボタン	LPF / HPF モード、切り替え可能
ボタン上	オン / オフ、切り替え可能

同期セクション	
モードセレクター	内部 / MIDI / USB / クロック、選択可能

シーケンサーモード	
編集ボタン	保存、コピー、消去、ダンプ
モードボタン	歌、パターン、ステップ
コントロール	データ編集用エンコーダ
再生コントロール	タップ / ホールド、録音、停止、再生 / 一時停止
データモード	テンポ / スイング / プロブ / フラム、選択可能
自動スクロール	オン / オフ、巻き戻し、長さ (16/32/48/64、選択可能)、早送り
引き金	オン / オフ、分割を繰り返す (1/2/4/8、選択可能)、ステップリピート、ノートリピート
追跡	ミュート / ソロ、選択可能
ステップボタン	16 ステップのエンター ボタン

技術仕様

設定	設定モードに入り、ステップボタンを使用して操作を選択します。
自動入力	自動入力選択モードに入る
曲/ストレージ	ソングモード 16曲のいずれかをチェーンしてフルセットにします
パターン/ストレージ	容量 16曲、各 16 パターン パターンモード パターン/パートごとに最大 99 回の反復 ステップ 64 ステップ
電源	外部電源アダプター 18 V DC、1000 mA 消費電力 通常 15 W
環境	動作温度範囲 5°C から 40°C (41°F から 104°F)
物理的	寸法 (H x W x D) 77 x 498 x 265 mm (3.0 x 19.6 x 10.4") 重量 3.0 kg (6.6 ポンド)

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換している必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様

のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国 の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国 がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客 様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの 保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コー

ドを接続する前に、本製品に適切な電圧 を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧お よび電流、種類が同じヒューズに交換す る必要があります。

JP

We Hear You